明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可　（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月十九日（木曜日）　第百九十一號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓經營の漁業

（庵原水產課長談）

平安北道鴨綠江口より濟川江口に至る沿海線は百八十海里に亘り外に無數の島嶼あり魚介の生產豐饒にして西海稀有の好漁場なるも從來支那密漁船の往來繁く日韓人の漁業者稀少なるに乘じ漁業の利は多く彼等に獨占せられ空しく國利を遺棄しありしが漁業法發布と共に密漁船の取締も漸く勵行せられ兩國人の漁利を圖るべき好機運に際會するに至りしも由來韓人は農業者の多きに似ず漁業者極めて少數にして此の廣大なる海面の經營にまで其手を伸はすを得ず又日本人に在りても極めて僻遠の地なるが爲め南韓方面の如く漁業者隨意の往來困難にして個々の行動に任せは容易に此遺利を拾ひ其富源を開發するの目的を達し難く必すや一大計畫の下に一定の移住を圖り官民協力して其遂行を幇助せさる可からず此時に當り東洋拓殖會社は其附帶事業として水產業の經營を爲すの意志を有し是等移民拓殖の如きは會社目的の一部なるが故平安北道に於ける漁業經營は會社として最も好適の事業なるを認め當局者と會社との間屢次往來交涉を重ね遂に會社は一大計畫を立て殖民的漁業經營を爲すことに決定し今や其手續の進行中にあるを以て今年內には總ての準備を了へ明年の漁期よりは其實行に着手する豫定なり於是平安北道の寶庫も開かるべく日韓漁民の其惠に賴る者も多かるべく西邊荒涼の地漁村の並立を見るべく一帶の島影帆檣の林立するものあるに至るべく國家及漁民の爲め洵に喜ぶべき現象を呈し來れり同社細目及實行方法の如きは他日確定を待ち發表するの機會あるべし云々

朝鮮マラリヤ

▲如何にして傳染するか

朝鮮マラリヤは臺灣と同じく全く蚊に依りて傳播さるゝものなるが就中學名アノフヱーレスと稱する蚊族は普通の蚊と形体を同くすれども靜止の時に於て兩後趾を地に着けず反つて上方に揚ぐるものにしてマラリヤ病毒の媒介者中最も恐るべき種類に屬す棲息地は普通の蚊と同じく沮洳水澤にして居留地邊にては老人亭附近に最も多く其濁水汚流の邊り何れも感染者著るし之を驅除するには藥力を借るも一法なれども常に淸水を通じて其棲息を防遏するを最良の法とすと

新漁業法と欝陵島民

交通不便なる僻遠の地にて欝陵島民は六月に至りて漸く漁業法の發布を知りたる位にして島民は免許、許可漁業といふ如き區別をも知らず釜山にて大体に通ずるを得し如き次第なるが既に他地方人にして同島の漁權を出願せしもある由なれば是等に壟斷せらるゝことありては同島民の死活に關する問題なればとて島民代表者片岡吉兵衞は十七日水產局に出願し陳情する所ありたり

韓家擔保の貸付價格

韓屋を擔保として貸付をなすには昨年は藁屋一間十圓より十五圓位なりしが本年は五圓を限りとし瓦屋は昨年三十圓位なりしもの本年は十圓を極度とす三十九年頃は草屋瓦家を通じて殆んど本年と同格なりしが昨年の突飛値は見越し貸付をなすもの多かりしに由ると

文苑

江戸調情歌　獨立門人

▲蚊屋

夜徹し待せて妾をつりて　主にや恨があふみ蚊帳
拗つ縺れつ苦說や痴話で　何にが何やらかやの中
嘘ぞゆふべの怨みを胸に　疊み込だる今朝の蚊屋
胸はもねぎの思も知らず　ぬしは情があさの蚊帳
貧しい暮しも仲よい二人　はたに心もめん蚊や

中山大納言

第廿八席　桃川燕玉演

ところが中山殿は以の外の事、此度關東下向に及び、左樣な事があつては皇威へ傷を付けるやうなもの、元より道中筋に於て賄賂などゝは以ての外の事だ、江戸表に於て德川家の士共の荒膽を取拉ぐには潔白正路少しも私のないやうにと云ふ、そこで近衞殿へ此段を申上げるから、近衞關白殿下が千兩と云ふ金を御用立ました、茲で中山正親町の御兩卿、寛政五年の正月廿六日愈々京都御發足と云ふことに相成る。

扨其頃ひは德川の武威未だ盛んでございまして、大槪の公卿方は德川士には驚いて御出でなさる、中に中山愛親卿は勤王無二の大忠臣であらせられまして、德川士などは更に眼中に置かつしやらぬ、専ら天下の志士と交際をなさいまして、當時中山殿へ始終立入りましたのが奥州仙臺名代の林子平、或は野州宇都宮の產蒲生君平、上州細谷村の產高山彦九郎などゝ云ふ、寛政の三奇人と申して何れも豪傑でございます。取分けまして蒲生君平高山彦九郎などゝ云ふ人は、始終中山殿へ伺候をして、大納言殿と無二の御懇意を致した。されば愈々中山正親町の御兩卿關東御下向と云ふ時に、御歌所柴山宰相、日頃中山殿とは御懇意でございますから、立振舞ひに御暇乞に御出でなされ　柴「扨今度貴卿關東御下向は一層御苦勞に承知致す、どうも關東武威に任せ、動もすれば朝意に背き、誠に嘆かはしき世の中である」と一首の歌を遊ばして「稚生繁りて道も分かぬ世に、降るは涙の天が下かな」といふ一首を詠じました。一說には主上の御製だと申しまするが、是は全く柴山宰相殿が御詠みになつた歌。扨中山殿は近衞殿から御附になつた今大路民部少輔、相並で池西太宮同小彌太是等の者は御籠側でございまして行列美々しく、引續いて正親町大納言、是亦行列美々敷く京都を御發足、されば京都町奉行久貝因幡守から、御兩卿御出立の趣を取急いで關東へ注進を致す。御兩卿は逢坂山の關の址へ掛つて、中山殿御乘物の中に在らせられまして「歸り來んと思ふ必はなかりけり、今日あふさかの關を越ゆれば」と一首の歌を遊ばされました、死を決して關東御下向。日を經て駿府へ着致しました、と池田信濃守、是は備前家の御別れでございます。駿府の御本陣へ參りまして「池「扨此度關東御下向御苦勞に存じ奉る、本家松平内藏頭より御道中御小遣として中山殿へ是を差上げるやうとの儀でござる」と金千兩持參をした、相手が三十餘万石、備前岡山の松平内藏頭殿から御遺しになつた、中山殿殊の外に喜び、厚く禮を述べ快く御收めになりました。軈て駿府を立ち、あれから箱根に掛つて參りました「箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川」と云ふ古い俚謠がございまする、當今と違つて昔は交通が誠に不便であつたのは、態と道中に大河或は絕所などを置いたもんだと云ふ。箱根の石高道、なか〳〵どうも歩行くには難儀でございまする是へ掛つていらつしやると、江戸の方から上つて來たのが松平讃岐守と云ふ、向ふを見ると御公卿が行列を立つて來た。其頭の士と云ふ者は誠に理に疎うございまして只武威盛なるを頼んで、敬ふべきを敬はず沙汰の限りの馬鹿者が幾らもあつた。京都の青公卿輩が關東へ下向をする、何のと常に嘗めて居るから、エーホーと云つて大威張りでやつて來た。中山殿の御人數を傍へ寄らして、大道狹しと大手を振つて行かうと云ふ。之を見ると今大路民部少輔「イヤ不屆なる關東の荒夷、中山殿關東御下向の御道筋を憚らず以の外の振舞、此方から聲を掛けろ」中山殿の御供「ホー〳〵、寄れねッ」是も往來の眞正中を大手を振つて參りまする。恰度箱根の强飯阪と云ふ處に掛つて來た、だん〳〵雙方から取詰めて參りますと、松平讃岐守の先番今野定右衞門と云ふ馬鹿野郎、パラ〳〵ッと飛んで參りまして「コレ〳〵、先刻から聲を掛けるに何故側に寄らつしやらぬ、側寄らつしやい」池西太宮躍出まして「何と申す、側寄らつしやいとは誰に向つて申す言葉、只今此へ御通行あらせられるは中山殿關東へ御下向の御道筋、此方から聲を掛けるに汝等耳に入らぬ事はあるまい、何の爲に目を光らし耳を二つ附けて置く、大白痴奴、側寄つて宜しければ其方共側へ寄れ、無禮者奴ッ」と怒鳴り付けた。



京城新報

天祐を待つ可らず

北米に於ける我移民の排斥を受くるや我政府は之に何等の抗議もなさず、唯甘じて退讓の美徳を發揮せるのみ、而も内に向ては北米移民の根帯崩壊せる外交の失策を糊塗する爲か頻に南米に之れを回復すべしと吹聽せり、白拉耳爾、秘露其他の南米諸國に於ける移民の有望なることを呼號したるは今尚ほ世人の記憶に新なる所、單に斯く吹聴せるに止らず之に對して多少の保護をもなしたる形跡あり、當時余輩は南米移民の到底成功せざるべきことを說きたれども我政府は或る政略上殊更に有望なりと稱したることは今日に於ては最早爭ふ可らざる程に暴露せり、然らばメキシコは如何と云ふに是亦前途有望なりとは決して云ふ可らず、殊に布哇に於ては我七万の移住民を島外に放逐せんと盛に試みつゝありと云ふ、果して然らば帝國の過剰人口は今后如何なる方面に向て移出すべきか。

是を米國人に聞く、日本人は太平洋の西岸に來らざるも、將た布哇に來らざるも、一葦帶水の向岸に韓半島なる好移民地を有するに非ずや、然るに日本が太平洋を横斷して移民を送らんとするは徒に事を好むものなりと、又我政府者は云ふ、今や我移民の方針は一定せり、過去に於ては世界の各所に我移民を送りしが、斯る散漫なる移民は民族の擁護及國力發展の爲に何等の効を奏せず、故に今後は我移民は滿韓に集中すべしと、是亦例の政略上よりの吹聴に非ざるか、惟ふに之を一場の囈語として聞くに於ては何等之に對して言ふべき所なきも、此政府者にして實際之を行はんとする意あるものとして、現時滿韓に於ける其施設を見るに於ては政府者の言は殆ど一の滑稽談に過ぎざる也、滿洲は暫らく措て半島に於ける施設を見れば政府が此方針を遂行するの意なるや否を疑ふ、眞個に政府の聲言せる如く半島に我移民を集中せんとするならば甚だ容易なる事業也、然れども如何に容易なりと雖も拱手傍觀して只移民自身の増殖は望む可らず、余輩の知る所を以てすれば半島に對して邦人の移住は明治九年に始まりて今日に至るも、今尚僅に十三萬人內外に達せるのみ也、移住年割は、審にせざるも統監府設置後は一ヶ年に一万八千を以て算せらるゝものゝ如し、過去に於て然りとすれば將來も亦然るべき也、斯の如くんば一百萬の邦人を入るゝには頗る長日月を經ざる可らず、思ふて爰に至れば如何に氣長きものと雖も望洋の歎を發せずんばあらず。

我政府は東拓會社を以て我移民の集中機關の如く誇唱すれども、同會社現在の狀態にては到底政府の誇唱に適ふべしとは思はれず、而して統監府又直接に邦人移住の事に與らず然らば如何にして之を遂行すべきか、徒に天祐の降下を俟つの外あるべきか、余輩は未だ古より天祐により移民事業の成功したる例を聞かず、如何に天祐を當てにする我政府と雖も今の時に於ては決して拱手傍觀天祐の降下を待つ可らず、政府は宜しく其聲言を實にするの雄斷に出でざる可らざる也。

東京電報

▲清政府の新提議

清政府は安奉改築に同意せるも線路の幅員は安奉線と同一にし陳相屯以西は蘇家屯を經由せず直ちに奉天に至る事、表面起工費を定むる事等の新提議を出せるを以て小池總領事は直ちに之に回答し引續き會議中なり(十八日着)

▲唐紹怡氏の危篤

唐紹怡氏は天津に於て病氣に罹り危篤に瀕せり(同上)

▲韓皇太子の旅程

韓太子は本日青森を發し秋田に宿泊されたり(同上)

▲韓銀株豫約賣買

韓銀株に對する權利豫約賣買盛に行はる一株三十五圓を唱ふるの盛況なり(十八日發)

北京電報

▲吉長線調印濟

本日天津に於て吉長線借款問題調印濟み其要領は吉長線二百十五萬圓利子五朱手取九十三圓五ヶ年据置廿ヶ年賦償還新奉線三十二萬圓利子五朱手取九十三圓据置なく十八ヶ年賦償還の事(十八日發)

地方電報

▲平北害虫の發生

平安北道に於ては管内に夜盜蟲發生し被害甚し(十七日午後着)

雜報

●韓儲見學と親電

韓皇には伊藤太師宛左の御親電を發せられたるに對し太師より直に答電ありたる由

伊藤太師宛親電

炎暑に際し我太子見學の爲め遠地に同行せらるゝは朕の感謝に堪へざる所なり如今氣候頗る順ならず御自重を加へ無事歸還せられんことを望む

伊藤太師答電

謹て電命を拜承す皇太子殿下御健全各地故障なく御遊歷隨行員も一同無事冀くは宸襟を安せられん事を茲に謹て拜謝す

●專管居留地問題 (清領事と交涉經過)

韓國に於ける清國專管居留地[illegible]交涉は本春京城に於て開始せ[illegible]着を見る能はざる由なるが今[illegible]を記述せんに始め清國は全文[illegible]定案を具し京城駐在馬總領事に命じ統監府へ交涉を申込み來れり茲に於て同府は委員として鍋島外務部長及小松、萩田兩書記官を任命し該提案を基礎として本年二月其交涉を開始し爾來數十回の往復折衝を重ねたり元來該問題に就ては清韓條約により既に[illegible]

●漁業出願者と許可數

韓國政府が本年四月一日漁業法發布以來同法により[illegible]總件數は一昨十六日現在にては三千九百七十五件[illegible]

●清津羅南間道路起工

北韓淸津より羅南を經て鏡城に至る道路は[illegible]來る二十五日より愈々工事に着手すべき筈にて來る九月北韓守備兵が羅南に於ける新營兵舍に入る迄に淸津羅南間三里の開通を期すべく羅南より南二里鏡城に至る間も本年中に竣成すべき豫定にて之れが工費豫算は約八萬圓にして本年度の治道費より支出すべしと

●輸出牛檢疫法の改正

輸出牛の檢疫開始は來る二十日より實施せらるゝに付ては先日發布せられたる法律に依り日本に輸出する韓牛は凡て檢疫を要する筈なりしが食用に供する牛は日本に到着後日本檢疫官の指定したる屠殺場にて直ちに屠殺するものは韓國に於て檢疫を要せざることに改正せらるゝ由にて兩三日中の官報にて發布せらるべければ食牛に限り檢疫を受くることなく何れの場所より輸出するも差支なしと云ふ

●平南寄附金問題落着

本春來平安南道平壤地方に於て農學校を設立すと稱し同地方有志より壹萬五千餘圓の寄附金を募集し一時社會の物議を起し内部に於ても右に關し平渡府郡課長同地へ出張詳細調査の結果之れを實業學校に依り學校となすか、又は農商工部の所管とするかは他日に讓り一先つ同道に於て設立經營せしむることゝし茲に落着を告たる次第也と

●上半年間鐵道の收入

本年一月より六月に至る韓國鐵道全線の收入左の如し

	客車收入	貨車收入
一月	二〇〇、〇二九圓	一三〇、九九八圓
二月	一四三、七〇三	一一七、二六五
三月	一八八、五二九	一五六、六一八
四月	一八八、〇三六	一三三、二二九
五月	一八八、三三〇	一五七、二五一
六月	一六九、九四六	一二二、二九七
計	一、〇七八、五七五	八一六、六六〇

備考 表中錢位は省けるも六ヶ月總計は之れも計入したるものなり

●新設する兩鐵道豫算

京元三南の兩鐵道は愈々來春より敷設工事に着手する方針にて統監府は其經費を四十三年度統監府鐵道臨時部歲出豫算に計上したり而して其の豫算額は京元線千五百萬圓三南線二千萬圓合計三千五百萬圓にして六ヶ年の繼續事業なりと

●水產局と水產技術官

農商工部水產局に於ては來年度より各道に一名づゝの水產技術官を常置し之れと同時に各樞要の地に水產試驗場を新設して水產に關する各種の試驗を行ひ一方水產學校を設けて地方費より支辯するの計畫あり是等凡ての費用は百二十萬圓の豫定なりと云ふ

●害虫發生と技師派遣

平安北道の義州、龍川府管内に於ては夜盜蟲發生し被害甚しく取急ぎ技術者急派を乞ふとの電報十八日農商工部に達したるが右に對して義州の種苗場長は應急の手當を爲しつゝある由なるが尚ほ農商工部は農業模範場の花井技師を急派したりと云ふ

●東拓の漁區と韓政府

韓政府が東拓會社に對し其經營を許可すべき漁區は既報の如く平安北道一帶百八十海哩に亘る沿岸なるも右は同社と當局者との間に內定せるまでにして之が命令條件を具し形式的許可を與ふるは目下其筋に於て調查中なりと云ふ

●平南農林講習所近狀

平安南道農林講習所は寄附金を以て成れるが簡易速成を旨とし生徒は補助費を給與すると私費生とに分ち前者の入學は各郡守の推薦に依り既に五十名に達せり後者は試驗を行ひ十名の入學を許し寄宿舍には三十一名あり

●農事試驗場增設方針

農事試驗場は本年度は平安南道順川郡江東郡に各一箇所又來年度は適宜地を擇み二箇所を增設の筈なり當分は蔬菜培養の外桑樹を作り漸次模範を示するに至るべし

●大同敎報の發賣禁止

大同敎報第六十號は治安妨害の廉により其發賣を禁止されたり

●韓銀設立の順序

韓銀の創立委員は既に夫々任命せられたるに付きては來る二十三日より創立委員會議を開き定款の議定を爲したる上にて日本政府の認可を經る筈なるか之れに要する日子は本月中にて夫れより株式の募集及拂込の手續を了する迄には九月中旬乃至下旬までの豫定にして夫れより愈々韓國銀行の設立となり第一銀行との引繼に着手することなるか引繼事務には度支部よりも監理官の立會を爲し評價すへき財產に就ては相當の價額を定めて授受を爲す順序なるを以て開業期は十一月なりと云ふ

●各縣韓海漁業補助金

四十二年度に於ける各府縣の韓海漁業に對する補助金は左の如し

(高知)三千五百圓 (鳥取)二千百五十圓 (愛知)縣費千圓郡費四百五十圓(和歌山)一千圓(富山)千二百圓(千葉)五千圓(大分)二千六百圓(兵庫)三千四百圓(德島)一千五百圓(佐賀)五千五百圓(長崎)二万九千八百二十九圓、郡費四百圓、組合團体費三千六百十圓(福岡)縣費一萬六百圓、郡費三千四百十一圓(福島)二百五十圓(福井)千五百十五圓(山口)縣費二萬六百圓郡費七千二百十七圓、組合費七千百七十圓(熊本)組合費七千四百五十圓(宮崎)二千五百圓(愛媛)六千八百圓(岡山)四千八百圓(香川)縣費千七百十五圓、郡費百五十圓

本年度に於て右の外全く補助獎勵の設備なきは沖繩、岐阜、靜岡、奈良、長野、群馬、埼玉、山形、山梨、巖手、東京府、青森、秋田、滋賀、神奈川、茨木、廣島、栃木、宮城、新潟、三重等也

●勸農會と扶餘荒蕪地

全羅北道扶餘郡白勢村に韓國勵農會の卅八年四月以來經營せる錦江右岸より鴻山邑內附近に亘る廣大なる荒蕪地は爾後十萬圓の資を投じ邦人七十餘戶二百余人を移住せしめ銳意開墾に從事せしめ居れども毎年水害を被り收益を見る能はざるが今回錦江右岸に長さ五百五十間の防水堤防築造中にして其竣工後は堤防以西二百五十余町歩の水田は水旱害を免れ多くの收獲ある見込なりと

●龍山水道と會社要求

既報龍山水道布設に就き水道會社より民團に提出したる仕樣書の大要は本年十一月に着手四十三年一月成工の事、瓦斯管、電軌、下水、溝其他支障ある場合は變更する事、消火栓設置等なるが工費十萬圓を要し且つ當分は收利の見込立難きを以て道路使用には無條件とし十四個所に設置すべき消火栓には保存費として毎月三十圓宛を支給されんことを要求したり

●龍山大神宮社殿新築

龍山青坡厚昌園に奉安さるべき同社殿は目下東京にて材料切組中の由なるが神宮奉齋會船曳衛氏の來京も主として是等打合せの爲めにして許可次第先づ事務所建設に着手すべしと

●驛屯土の引繼終了期

韓政府より東拓會社へ出資すべき驛屯土は既に大部分の引繼を了へ殘るは僅少の地積なるも目下當局者と交涉中なれば近々の內終了すべしと井上理事は語れり

●京城在留の清人減少

京城在留の淸國人は一昨年迄二千三百人を下らざりしが不景氣の爲めか漸次本國に引上げ最近の調査に依れば千七百人に減少したりと

●倉富法部次官の東上

司法權委任に伴ふ吾が政府の實施準備及施行制度は統監府に於て調査中の處既に完成せるを以て倉富法部次官之を携へ今十九日出發東上の途に就く由

●香坂法務院長の巡視

法務院長たる同氏は大邱、馬山、釜山の各理事廳に於ける司法事務視察の爲め西村書記を從へ今十九日午後十時四十分南大門發の列車にて出發せらるゝ由

●釜山製氷所の竣成期

釜山に於ける漁港の發達を期し漁業者の利益增進の爲め經營せる製氷所は近々の內工事の竣成を告ぐべしと云ふ

●一進會と新顧問發表

一進會にては今回杉山茂丸氏を顧問と公表し不日宋秉畯の許に使を遣すべき由なるが其用向は注意するに値するものなりと

●故ベッセル遺產競賣

故ベッセル氏の遺產は來る十九、二十の兩日同邸內に於て競賣に附すべしと云ふ

●京城教育會開會

同會は去る十六日日本人商業會議所樓上に於て開催せられたるが來會者は會長三浦理事官を始め隈本學部書記官其他教育家七十餘名にして三浦會長の開會の辭に次で櫻井局長は教育と警察なる題下に公德の養成と警察の關係、韓國風俗習慣の觀察、在韓邦人の韓人に對する態度より韓人教育の方針等に關し一時間に亘る演說を試み了つて福引等の餘興あり非常の盛會なりし由

●警部登用本試驗

本月一日各道に於て施行したる日本人警部豫備試驗答案審查の結果內部警務局及警視廳を通し四十名の合格ありたるに依り來る九月十五日更らに內部に召集して學術、口頭の本試驗を行ふ筈

●米婦人北韓布敎

京城フレスベリアン敎會布敎師米婦人ウランホール嬢は平北新安州より北鎭に入り目下滯在布敎中

●韓新聞社長交迭

近日創刊さるべき大同日報社長漢鎭容氏は今回辭任し張世基氏其後任となりたり

●面長職制の詮議

面長職制は目下統監府にて詮議中なるが遠から[illegible]

●趙農相の鬱島行

趙農相は[illegible]る十七日鬱島園藝模範場を[illegible]

公人私人

▲宮崎喜一(三井物產社員) 十七日仁川へ
▲松原錠藏(高田商會員) 同上釜山
▲大橋鐵之助(公州地方裁判所判事)[illegible]
▲武田榮一(馬山民團民長) [illegible]

近事片々

▲韓銀● 創立委員の顏觸を見て在留邦人中よりは市原の[illegible]
▲然る● に韓人よりは韓白[illegible]故在留の我實業家より委員を[illegible]
▲功勞● ある先驅開拓者を[illegible]し桂と云ふ男も判つた樣で[illegible]
▲總て● 是れ御都合主義よ[illegible]定爲に東拓の如き屁理[illegible]
▲日本● の實業家が韓國に[illegible]識かある辛苦艱難を嘗めて[illegible]
▲全体● 殖民地の事は殖民[illegible]營さるゝが當然也門外漢の[illegible]
▲公使● 時代に於ける我經營[illegible]政府本位なるが爲のみ何今[illegible]
▲彼の● 觀光團員中より宜[illegible]に派遣するの議ありと京城[illegible]
▲觀光● 團が日韓兩國の爲[illegible]と思ふは獨り京城日報一味の[illegible]
▲小村● 外相は愈々燒が鈍[illegible]對する演說の如きは支離滅裂[illegible]
▲米國● に對する辭辯も茲に[illegible]縮仕る二十日鼠の綽名は最[illegible]
▲霞ケ● 關は御大將を始め[illegible]要あり次官石井に至ては何[illegible]
▲倉知● 萩原の兩局長何れ[illegible]子のみ併し萩原は幾分まだ[illegible]
▲在外● 使臣中は稍々賴母[illegible]に過ぎず外交多時の今日甚[illegible]
▲此中● 獨り幾分群を拔け[illegible]位に過ぎす霞ケ關の大更迭は[illegible]
▲總て● 京城に於ける邦人[illegible]濟々と人は云ふも是と云ふ[illegible]
▲鴨綠● 江附近には淸國[illegible]と併し寬大なれ北境開拓は[illegible]
▲徒に● 約子定規を以て律[illegible]の所以にあらず須く樣度の[illegible]
▲巴城● 館に於ける淸元會[illegible]西湖子のながれ是は近來の[illegible]
▲京城● の春の號はヲッナ[illegible]遙に優等併し是西湖先生の[illegible]

●金融組合と地方產業

度支部に於ては民福開發の唯一手段として[illegible]百ヶ所の組合の他尚ほ進んで是非一郡へ[illegible]所大部には二ヶ所をも設置せん考にて來年[illegible]本部に於て役員會を開き曩きに借入方を度支部に請願したる元陸軍法院跡を事務所に[illegible]て內外相懇し此際會員の大募集を爲すべき件を決議したりと[illegible]料理店主、土方等あるを以て之れと伍するを好まざるに基因するものなるが一部居留[illegible]

金融組合設置に付きては[illegible]度の擴算に[illegible]殆ど[illegible]せず、極力亦た其の葎に浴し益を稱するとなるが當局に於ても其効果の頗る良好なるに鑑み旣設金融組合に傾注せんとのとなり

●山林協會の擴張 山林協會にては過般[illegible]支出する件及び本部に四十名の會員募集員を選任し各支部にも亦適宜募集員を選任し

●新義州民團議員辭任 過般改選したる新義州民團議員中二三名辭任を申出でたるものあるが這は新選議員中[illegible]親し民團行政に盡瘁せざるを憤慨し居れるものありと

●貴婦人の墮落(其二)

▲天下の大通曾禰統監
▲京城日報の不心得
▲破倫……破德……の奬勵

▲曾禰統監 は異に天下の大通なりと西湖先生作競馬の唄が假令一時なりとは云へ天下の花柳界を賑かしたるは知る人の知るのみにはあらずして今の度支部會計檢査部長落合君の證言するところなり閑話休題本年晩春副統監は光濟號に搭じて南北韓の沿岸を視察し五月十二日を以て京城に歸着す時に東都よりの召命あり急遽旅裝を調へ東上の途に登らんとす、命は副統監に取つて吉か凶か、大腹なる副統監は火事場で大便を果すが如く出立前の其忙歟き中に於て園遊會を催したり、召命は果して吉なりき。

▲昇天園遊會 昇天の勢なる曾禰子爵が其副統監の舊衣を脫せんがための紀念の園遊會は五月十五日を以て好道園に於て開かれたり當日招待を受けて臨場したる來賓は其數無慮二千人に達し御馳走は山海の珍味裝飾は善盡し美盡したれば來賓何れも醉に醉ひたるが如く外人韓人邦人の別なく各歡樂の奥を極め好道園は此世からなる極樂淨土と化したりけり

▲春の眺はおつなもの 宴酣にして劉喨たる軍樂は起る來賓一同襟を正せる間に陸軍樂隊は大通西湖先生手作の有名なる「春の眺めはおつなもの」を唄へり其文句意味深遠にして伺ひ知る能はざるも來賓一同は只何となし一種の感に打たれて唄の濟までは一齊に頭を纏ぐるを得ざりき。

▲歡樂極つて 哀傷到るは實にや人事の習にてさしも盛大なる園遊會もはや黃昏の打出となれる頃ついさき迄は喜びに醉ひ勇みに勇みたる來賓の大部分は今は一種不愉快の念を以て鼓はるゝに到れり

▲不愉快の源因 食堂より出て來れる一隊の貴婦人令孃あり何れも今日を晴れと盛粧せしことなれば其美其優花の如く中に一際目立ちて見へたるは白襟紋附丸髷姿の中年增二人 也大官連の夫人にしては粹過たりされはとて醜業婦などの斯る嚴なる公式の宴會へ來るべしとも思はれざれば何人ならんかと一人が疑へば他も同樣にて諸人等しく此二人の怪女性に向つて凝視することゝなれり

▲怪女性の本体 諸人が一樣に凝視せる怪女性の一人は暫くにして多くの貴婦人令孃より取卷かれたり怪女性は應揚に挨拶せり貴婦人令孃達は言葉遣ひも丁寧に怪女性を呼ぶに奥樣々々を以てし別るゝに臨んでは彼女に向つて叩頭稽首あらん限の敬意を表したり嗚呼我京城の貴婦人達より斯も尊敬を受る彼の怪女性は何人なるや住持は阿彌陀にて光り妾は旦那に依つて光るの古言我を欺かず怪女性の本体は實に曾禰統監の寵妾おやゐの方にて他の一人は人も知る仁川の商人秋田穀の妾おかねの方なり此おかねの方はおやゐの方の招ぎを受けて臨場したるものにて本紙が曾ておかねを目して副統監の公式園遊會へ紛れ入れりとせしは誤りなる、以て茲に正す

●妻を逐て女郎を落籍
▲落籍の金は詐欺取財

佐賀縣杵島郡東川上村字永野六十四番地平民當時龍山山下町居留疊職浦川峰吉(三三)は豫て長崎縣佐世保市にて疊職を營業し居りしものなるが同地に於て妻ある身をも顧みず佐世保勝富町七福樓の娼妓かしく事川村明野(二七)に通ひ詰めたる揚句數年連れ添ふ其の妻を家風に適せずなど〻實家に返し本年三月一日同市天滿町六十六番地松浦治輔なる同業者より自分は以前當鎭守府長官々舍の疊を納附したる事あり之が緣故にて同海軍經理部建築課長吉村某の世話にて今度旅順鎭守府に疊の表替へ二千枚を請負ふ事となりしを以て其の材料買入に要する金四百圓を貸與し呉れよと僞りて松浦より該金を受取り翌日其の內三百圓を以て前記かしくを落籍せしめ共に備後尾の道に至り今一と仕事をと又惡計を案出し佐世保にある先妻の實父岸川伊七に對し鐵面皮にも同地より疊表二千枚及附屬品約八百圓程を買込みたるに四百圓不足に付送附せよと打電せしかば伊七は之を信じ松浦方に至り情を述べ四百圓を借りて送附したれば吉峰は之を受取るや仕濟ましたりと此の金を持てかしくと共に姿を隱せしかば松浦は佐世保警察署へ詐欺取財として訴へ出でたるに其後渡韓せし形蹟あるより當地南部署へ搜査方照會し來りしより同署の長野刑事が搜査中本年四月頃より龍山川端町に川村明野と標札を掲げて夫婦らしきもの住居し爲す事もなく徒食せるに怪しと目星を附け居りしが五月一日頃同地京町七番戸に移轉し明野の名義にて疊職を始め又本月の始め前記の處に移轉したる其の擧動の益々不審にして且つ佐世保署よりの照會の者に符合する點あるを以て一昨日同刑事は前記の場所に於て取り押へ取調べたるに事の始末を逐一自白したりと

●飛んで火に入る夏の虫
▲二階から警察署へ一足飛

仁川宮町二丁目中上嘉作方雇人加藤伊三郎(六十)と云ふは主人に信用せられ居るを利用し昨年三月頃より集金に出でゝは一二軒の集金を胡魔化し同じ店員なる田上某と云ふを連に新町の飲食店初音、寺町一二三亭及び七福亭等に登り身分不相應の散財をなし居たるが此の頃に至り海岸町西本多吉方外八十五軒より集金したる其の總額百九十圓を胡魔化したること發覺し一昨日二階にて主人嘉作に詰責せられたる所露見に及びては所詮逃れまじとや思ひけん二階より飛び降り一目散に逃げ出したるが主人嘉作は直に樣裏口より追跡し賊よ々々と呼びながら追ひ行きたれば如何な伊三郎も最早叶はじと思ひ警察に逃げ込み前記の次第を逐一自白したれば目下取調中なりと

●支那人に撲らる
十七日午後六時頃肥料汲取人夫淸國人王春山(二十)は他の人夫と北米倉町婦人科病院及林組出張所の糞便を汲まんと入り來りしに時しも同家にては夕食中なるより裏より汲み取るべしと云ひしも言語の通せざる爲め飽迄表より汲まんとせしより同家の挽子三好粂吉(四十)が戶外に押し出さんとせしに突然王は擔棒を以て同人の足部を毆打し微傷を負はしめたるより其の筋に訴へ出で王は說諭せられ三好に謝罪す

●韓人の嫉妬喧嘩
再昨日南部小龍洞居住朴民玉(三二)の妻李姓女(十九)は同所居住任應寬方に遊びに行き同人妻金姓女の部屋にて雜話中尹相根なる者同室に入り來り李姓女と面白げに話し居る折柄同人の夫朴が來り此の有樣を見て金姓女が李姓女をして尹相根との中を取持ち姦通せしめしやに誤解して金を毆打微傷せしめ一圓の治療費を出して謝す

●贋造貨發見數
昨年七月より十二月に至る半期間にて贋造貨幣の發見せられたる數は一錢銅貨一個、五錢白銅六千三百五十三個、十錢二十二個、二十錢銀貨五百三十一個、五十錢銀貨七十七個、一圓紙幣一枚、五圓紙幣千二百四十五枚、十圓紙幣五枚にして五錢白銅の贋造は平安南北道最も多く五圓紙幣の贋造は平安北道に多しと

●狗肉ご韓人迷信
韓人は五特の一として暑中最も狗肉を賞美す其理由に曰く地球は夏時に於て外圍熱し中心に向ひて反て益寒し人身亦之に同じ狗兒は四時共に寒を知らず故に夏之を食へば外氣の冒犯を防ぐと。

●龍山の夜店開始
龍山民團にては市繁榮の爲め新市街三角道路附近(軍參謀長官舍附近)に午後六時より十二時迄夜間露店を開く計畫にて司令部に道路使用出願中の處此程或條件の下に許可せられ憲兵隊にて之を取締る筈なりと

●一奴拍子下落
仁川敷島遊廓は敷島樓本店に娼名を稱へしも落籍する人ありて一時素人となり居りたる先代奴事今の奴は近來の不景氣風に當てられてにや梅子の梅之助、淸松等と共に同支店に下り今夜より店を張る由今昔の感其れ如何ぞや

●十三錢の損害賠償
仁川京町二丁目の道路にて一昨日午前十一時頃京町三丁目お多福豆行商人高野定之助(四十)と胡瓜賣內洞鄭洪鎭(三十)とが衝突したる機胡瓜三十二個地上に落ち臺なしになりたれば鄭は警察に訴へ出でたるが素より故意にしたることにあらねば損害額大枚二十六錢の半額十三錢を高野が負擔して漸く事濟みたりとは滑稽

●淸商の惡智慧
當地蓬萊町七番戶指物商水口丈吉(三十)は一昨日南大門通り二丁目淸國人雜貨商姜鳳德(十九)方にて細引繩六筋を買ひ求め尚ほ外に用事あればとて同店に該品を預け置き用達して歸途之を受取りたるに內二筋を他の下等品と取替へ居る事を發見し同店に至り元の品と取替へ方交渉したるも應せず論爭の末其の筋へ訴へ出しかば姜は大目玉を頂戴

●大盜に醉臥して
昨日明治町二丁目に泥醉して倒れ居る男あるより巡回中の巡查が南署へ同行醉の覺むるを待て取り調ぶれば櫻井町一丁目八十五番戶山口方同居今口兼太郎(五十)と知れ將來を戒められて引下る

●復活せる彰義隊
▲俳優は何れも大車輪

酷暑の爲め休演中なりし歌舞伎座の彰義隊も昨今の秋冷と共に茲に復活を爲し去る十六日より再び歌舞伎座の軒頭高く正劇の旗幟を飜した、氣候の變遷と共に人の心も改まりしにや、開演以來連日の大入とは先づ以て結構である、一昨夜は「乳姉妹」で隨分古臭い演物であるが一寸目先きの變はつた處もあつた愛澤の高濱勇は慥かに適役である車場と海岸の場は元より高濱の見せ場であるが別に之れと云ふ變はつた處も見せず海岸の場等は寧ろ失望した位いであつた、併し園遊會の幕切りは確かに旨かつた、是れを昨年壽座で演つた木村猛夫に比較するに彼れは君江の後姿に見入り込み三室から貰らつた名刺を夢中でポケットに仕舞ひ同じく三室が突出すステッキを引つたくる處で木頭を取つたが、愛澤の高濱は一度び三室と別れて後、君江が綾小路大尉と花道に引込むと直ぐ舞臺の中央にツヽヽと出て失望して擔ついだステッキをバシッと折りヒヨロヽヽと退つて櫻樹にもたれ咬へたハンカチーフをパッと下らすと同時にチョンと木頭を取り櫻の花辨バラヽヽと落ちての幕切りである、前者に比較すると此方が遙かに趣味がある蓋し愛澤の高濱は此地では從來見ない出來であらふ、次に此劇の主人公たる西井の君江は態度と容姿には言分はなかつたが臺辭廻しがドウモ氣に喰はん今少し深刻を要すると思ふが如何にや、其他條崎の照信、河野の房江、角村の綾小路、桂木の百合子等何れも盛んに活動して居たは嬉し(もの字)

演藝

▲歌舞伎座 今夜の替りは一番目「瀧の白糸」八場二番目喜劇「アイラブユー」二場にして役割左の如し

瀧の白糸事水島とも(西井)陪席判事金原(仁科)荒井三次、娘おきみ(桂木)辨護士相川省三、交換手砂原おめ子(河野)一の瀨判事(角村)竹中曹長(玉川)相田妻おむら、木戸番寅公(中村)若旦那京之助(大和)菊の家重三、父親正右衛門(松村)口上言新公(小谷)倍席判事三好猛(天草)村越欽哉、淺井正太郎(愛澤)交換手江口雪子「三島」堀內辰五郎、友人平田榮造(美崎)辯護士後藤實、醫師花井、桐田剛助(篠崎)壯士風早進(北村)交換手井上(有村)同吉野(木下)

▲相談の相談▼
(何んでも御相談に應じ升)

◎問 妻を迎へるなら態々玄界洋を越へて遠い鄕里から呼寄せないとも當地で相當な人物を撰んだ方が得策だとは私の平素の考へですが親爺は『若い女にして朝鮮三界迄漂浪してるのに碌な奴があるか身元も確實ならぬのを貰つては後で取返しの付かぬ後悔するぞ』と云つて反對します家柄や血統や財產などが何んなに完然でも一面識ない女は貰い度くない矢張り多少知り居る人物がよいと思ひます記者樣の御意見は如何ですか又親爺をして在韓の女も惡い人ばかりで無い事を信ぜしむるには何うしたらよいでせうか(總角生)

◎答 貴君の御考へもお考へごしては至極だが實際問題としては御親父の仰云る事が着實だと云はねばならぬ、財產は兎に角として家柄とか血統とかは充分調查する必要があります、誰れやらが斯う云ふことを云ひました、女房は富籤同樣なもので妻としてからの行動は豫期せられるものでない、當るも當らぬも運だと、此れは少し極端だが、マア〜似た樣なものです勿論在韓の婦女と雖ども惡人計りでないことは御親父も萬々御承知なのです反證を上ける必要はないと思ふ、僕は御親父のお說に贊成する、併し此れと見極めた御人がゐるのなら決して不贊成は唱へない、但し漂浪して居る女は駄目、身元の確實なのに限ることは敢て附言して置きます(係)

◎問 彼の大和町なる東洋協會學校なる者は如何なる目的にて設けられたる者なるや一寸御知らせ被下度亦入學期及其手續及修業年限及今日迄の卒業生の位置等御手數ながら詳細御知らせ被下度伏て御願致します(一苦學生)

◎答 目的は韓國に必要なる智識を授くるにあつて東京本校の卒業生に限りて入會することを得と限られてあるから御志望は遂せられぬ從つて此れ以上は御必要がなからうと信ずる(係)

㊌天氣豫報(自十八日午後六時至十九日午後六時)
西の風曇後晴
十七日(華氏) 最高溫度 七二、一 最低溫度 六八、七

廣告

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髪、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●英文代書 通譯應需 本町一の七五中村

●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通ず不問職業被雇たし氏名在社(四一三)

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四一二)

●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歲市内相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)

●下女入用 年齡三十歲より四十歲迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)

●賣藥行商人數名募集 希望者は本人直接來談あれ 明治町三の一五七 水田藥房

物件部

●賣地 南大門より停車場に至る右側表通六十坪の賣地あり 氏名在社(四二〇)

●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家貸面談 氏名在社(四一五)

●貸家 若草町一にて温突二間續一間疊敷二間押込炊事場玄關付にて井戸の設置あり家貸十二圓若草町一の一二九矢島(四一九)

●貸家 南山町二丁目辻屋花園附近至極眺めよき新築家屋電話附の儘家貸三十圓位希望者は下名へ御申込あれ 本町二丁目辻屋

本町七丁目通にて飲食店造作付のまゝ至急格安に讓渡したし 姓名在社(四二三)

廣告

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路 (元花屋跡) かめ屋

▲懇切の下宿▼

毒滅

梅毒 りん病 リウマチス 新藥

本舗 大阪 森下博藥房

各驅黴院實驗證明

完全ナル懷中藥

THE JINTAN

仁丹 ジンタン

醫學博士三輪井上 兩先生御方劑

發行元 大阪 森下博藥房 各地藥店にあり

代理店

京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番

京城本町三丁目 新井藥房第一分店 (電話四七八番)

京城南大門外 新井藥房第二分店

消閑之清遊

毎日午後開會諸君子陸續賁臨を賜へ

京城明治町一丁目

京城碁會

(大和湯前〇万隣)

市中之仙境

東京火災海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

旅館

客室は清潔にして完全食事は御好みにより和洋何れにても調進萬事御便利に御扱ひ可申候

西洋料理

食堂は大小の數室あり御人數の多きに拘はらず迅速調理御用に應じ可申候

京城南山町三丁目 (元日本人倶樂部)

京城ホテル

長電話一二三番 電話四九二番

土管瓦煉瓦

土管

陶榮商店の販賣する土管は模範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

瓦

陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦

陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元

京城本町二丁目 (肥) 陶榮商店 (電話百十三番)

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 搾場夙に此に留意し好良の食料を給す

●搾場搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君に最も滋養價富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

京城本町五丁目 (電四七番)

販賣元 松尾支店

京城東四軒町 (電七五番)

搾取所 松尾牧場

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ (紹介ヲ要セス)

辯護士 岡田榮

京城旭町一丁目六十七番戸 (電話三九八番)

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

各學校御用品調達

委托販賣

東京 ランバーグ商會代理店

東京 中外アスファルト株式會社代理店

東京 千代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

東京 博文館發行書籍特約店

東京 金港堂發行書籍特約店

釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

本 京城明治町二丁目 電話一一〇番

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

卸 小賣

京城本町五丁目

富士の里茶舗

電話九七九番

純良 牛乳

●●●滋養と牛乳●●●

●●●衛生と消毒●●●

馬車配達

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

銘酒

雪乃松 盛乃花

仁川港 釀造元 大森酒場

韓國一手發賣元

(NA) 永島商行

京城日の出町一丁目 (電話架設中)

入院隨意

內外科 小兒病科 梅毒淋病

京城壽町三丁目

高井醫院

電話(三一六)

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

待合 春日

消毒 殺菌

元祖 牛乳・平山牧場

京城大和町壹丁目

電話一三三

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジャ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大賣出し 中元

大上商店

和洋酒、精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候 (電話二五一番)

御披露

東京生そば

京城旭町三丁目十六番戸 (三日月湯下隣)

東京庵

電話九五五番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

(電話長七〇一番)

一鴨綠江製材

一北海道松材

各種板類一切 及小割類種々

右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度充分大勉強御高需に可應候

京城本町五丁目

煙上支店 山本村太郎

電話三七〇番

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、何州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

焦心單志多年爲斯道難於做樂與旨恍然似有得者匪藍推驗斷啟啟茫洋鮮愈溜勝來面輕踐也

易斷觀相數授 京城本町五丁目

通信判斷一件一圓特別二圓

三三館

純良 消毒 牛乳

大新(?)特定御用

荒井牧場

電話一〇五六

日本郵船株式會社

仁川 滊船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

電話十番

◉釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月二十九日午後三時頃

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 九月九日正午時頃

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月日午前四時頃

◉大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 八月十八日午後田

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月拾錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番